

本県に影響のあった主な災害の概況

年号(西暦)	月日(旧暦)	種類・名称	記事
昭和18年 (1943)	9月10日	鳥取地震	【人的被害】死者1,210、重傷828、軽傷3,032【建物被害】住家 全壊7,164、半壊6,901、全廃183、半焼7、非住家 全壊6,131、半壊7,201、全廃106、半焼3【施設被害】道路267、橋りょう135、河川241、港湾5、その他土木関係にも甚大な被害【その他】交通網・通信網にばく大な被害【被害額】火災による各方面の被害総額5,582,000円
昭和27年 (1952)	4月17日	火災 (鳥取大火)	焼失区域面積338,900坪、山林焼失延坪150,000坪、り災世帯数5,263、人員24,712人。災害救助法適用【人的被害】死者3、重傷2、軽傷3,963【建物被害】住家6,786、非住家510【被害額】建物、内容物、山林損害総額合計19,326,990千円
昭和28年 (1953)	1月12～13日	雪害	【人的被害】死者3、負傷者1【建物被害】住家半壊3、非住家全壊1、半壊1、床下浸水17【耕地被害】水田冠水100町【その他】電柱被害一電通5,002本、中電2,945本、国鉄130本、通信に甚だしい障害をきたした。また、列車各線とも不定期運行。【被害額】被害総額161,760千円
	7月2～6日	豪雨	災害救助法適用【人的被害】死者3、負傷者2【建物被害】建物全壊11、半壊31、床上浸水348、床下浸水3,452、非住家被害17【被害額】農業・蚕業・林業・水産・土木被害1,931,159千円。
昭和29年 (1954)	1月27日～2月	雪害	【人的被害】死者5【建物被害】全壊8、半壊4、一部被害14、非住家46、電柱倒壊1,491、板べい1【その他】電話線・電燈線・鉄道・警察電話に被害あり、通信不通・途絶・停電す。
昭和34年 (1959)	9月17～18日	風害	【人的被害】死者10、負傷者1【その他】通信施設22回線、送電線2【被害額】損害合計額216,420千円
	9月25～27日	台風15号 (伊勢湾台風)	り災者45,738人、災害救助法適用【人的被害】死者3、重傷者4、軽傷者14【建物被害】住家流出22、全壊13、半壊100、床上浸水2,669、床下7,247、非住家2,188【施設被害】河川1,103、砂防142、道路516、橋りょう280、海岸2、港湾4【被害額】被害総額6,239,293千円
昭和36年 (1961)	9月15日	台風18号 (第2室戸台風)	被災者2,746世帯、被災人員13,005人、災害救助法適用【人的被害】死者3、軽傷5【建物被害】全壊流失100、半壊957、床上浸水465 床下浸水1,192、非住家全壊流失826【被害額】被害総額4,239,174千円
昭和38年 (1963)	1月	雪害 (昭和38年1月豪雪)	災害救助法適用【人的被害】死者5、負傷11【建物被害】全壊31、半壊18、一部損壊105【被害額】被害総額7,074,000千円
昭和39年 (1964)	7月15日	豪雨 (昭和39年7月山陰北陸豪雨)	災害救助法適用【人的被害】死者2、負傷5【建物被害】全壊4、半壊1、床上浸水671、床下浸水13,663 一部破損6、非住家8【被害額】被害総額1,445,000千円
昭和40年 (1965)	7月20日	梅雨前線豪雨	【人的被害】死者1、負傷2【建物被害】全壊1、半壊10、床上浸水38、床下浸水2,540、一部破損6、非住家25【被害額】被害総額929,000千円
	9月10日	台風23号	【人的被害】死者2、負傷1【建物被害】全壊4、半壊5、一部破損8、床上浸水220、床下浸水2967、非住家42【被害額】被害総額1,551,030千円
昭和45年 (1970)	8月21日	台風10号	【人的被害】死者1、負傷2【建物被害】全壊1、半壊5、一部破損34、床上浸水10、床下浸水543、非住家48【被害額】被害総額2,153,125千円
昭和51年 (1976)	9月8～13日	台風17号	県東部を中心に豪雨。鳥取県災害対策本部設置、災害救助法適用(鳥取市、智頭町)【人的被害】死者2、軽傷6【建物被害】全壊2、半壊6、一部破損7、床上浸水569、床下浸水2,295【被害額】被害総額10,138,599千円
昭和52年 (1977)	2月18～22日	豪雪	最深積雪量(cm)鳥取105、米子51、倉吉65、境港51、柘本241、岩井145、智頭78、東伯123【建物被害】半壊3棟、一部破損10棟、床下浸水7棟【被害額】被害総額6,310,658千円
昭和54年 (1979)	10月18～19日	台風20号	災害救助法適用(鳥取市)【人的被害】死者2、重傷1、軽傷2【建物被害】全壊4、半壊3、一部破損8、床上浸水538、床下浸水2,387【被害額】被害総額15,883,182千円
昭和58年 ～59年 (1983 ～1984)	12月～3月	豪雪	最深積雪量(cm)鳥取95、米子38、倉吉65、境62、下市80、青谷67、関金95、岩井85、日南145、若桜187、智頭129、鳥取県災害対策本部設置【人的被害】死者2、重傷21、軽傷13【建物被害】全壊15、半壊36、一部破損1,092、非住家388【被害額】被害総額16,979,620千円
昭和62年 (1987)	10月16～17日	台風19号	県中部地域を中心に記録的豪雨。鳥取県災害復旧対策本部設置、災害救助法適用(青谷町、東郷町)【人的被害】死者4、重傷3、軽傷2【建物被害】全壊4棟、半壊12棟、一部破損33棟、床上浸水677棟、床下浸水1,516棟【被害額】被害総額38,644,727千円
昭和63年 (1988)	9月28～29日	大雨	【人的被害】死者1、軽傷1【建物被害】全壊2棟、半壊1棟、床上浸水3棟、床下浸水146棟【被害額】被害総額525,078千円
平成2年 (1990)	9月17～20日	台風19号	【人的被害】死者1【建物被害】全壊5、一部破損1、床上浸水206、床下浸水590、非住家7【被害額】被害総額21,115,174千円

年号(西暦)	月日(旧暦)	種類・名称	記事
平成3年 (1991)	9月27～28日	台風19号	【人的被害】死者3、重傷4、軽傷22【建物被害】全壊2、半壊48、一部破損461、床上浸水1、床下浸水16、非住家270【被害額】被害総額7,616,243千円
平成5年 (1993)	6月2日	風害	【人的被害】死者1、重傷2、軽傷15【建物被害】半壊1、一部破損15、非住家12【被害額】被害総額1,292,314千円
平成9年 (1997)	1月5日 ～4月28日	ロシアタンカー重油流出事故	平成9年1月2日に島根県沖の日本海で沈没し、船首部分が福井県三国町に着底したロシア船籍タンカー、ナホトカ号から重油が流出、県内の海岸に多量の重油が漂着した。  【重油回収量等】 ＜洋上分＞ 重油回収量…県有船舶(約3,200t)、漁船(約61,600t) 作業従事者…1,809人 ＜漂着分＞ 重油回収量…10市町村、約5,600t 作業従事者…824人
平成10年 (1998)	9月24～25日	豪雨	【人的被害】死者1【建物被害】一部破損1、床上浸水5、床下浸水18【被害額】被害総額1,981,842千円
平成12年 (2000)	10月6日	鳥取県西部地震	震源：鳥取県西部、規模：マグニチュード7.3、震度：県内最大震度6強(境港市、日野町)、鳥取県災害対策本部設置、鳥取県災害復興本部設置、災害救助法適用(米子市、西伯町、日野町、漣口町、境港市、会見町)【人的被害】重傷31、軽傷110【建物被害】全壊394、半壊2,493、一部破損14,237、非住家3,069【被害額】被害総額49,843,757千円
平成16年 (2004)	3月10～11日	大雪	【人的被害】死者1【被害額】被害総額17,054千円
	9月29日	台風21号	観測雨量、鳥取市152mm、鹿野町241mm、智頭町208mm、県東部を中心に大雨等による被害が発生、智頭町市瀬の採石場跡地の土砂が崩落・河川流入により上流住宅に浸水被害発生、県職員災害応援隊が活動(住居の土砂の撤去等)、鳥取県災害対策本部設置 【人的被害】死者1、重傷1、軽傷6【建物被害】一部破損2、床下浸水34、床上浸水118、非住家2【施設被害】道路87、河川236、港湾2、砂防108【その他】停電531戸【被害額】被害総額8,026,793千円
	10月20 ～23日	台風23号	【人的被害】死者1、重傷1【建物被害】一部破損32、床下浸水43、床上浸水66、非住家16【施設被害】道路113、河川121、港湾1、砂防48【その他】停電10,844戸【被害額】被害総額3,581,842千円
平成22年 (2010)	7月16～20日	大雨	日南町を中心に大雨等による被害が発生、鳥取県災害対策本部設置【建物被害】床上浸水1、床下浸水14、非住家6【被害額】被害総額427,863千円
平成22年 ～23年 (2010 ～2011)	12月31日 ～2月18日	豪雪	最深積雪量(cm)米子89、境港72、大山209、鳥取県豪雪対策本部設置【人的被害】死者6、重傷1、軽傷7【建物被害】全壊1、半壊1、一部破損230、非住家47【被害額】被害総額2,067,732千円【その他】国道9号(琴浦町～大山町)約20kmで約1,000台の車が立ち往生
平成23年 (2011)	9月1～4日	台風12号	鳥取県災害対策本部設置、災害救助法適用(湯梨浜町、南部町)【建物被害】全壊1、一部破損18、床下浸水138、床上浸水17、非住家20【被害額】被害総額10,280,355千円
	9月20～23日	台風15号	鳥取県災害対策本部設置【建物被害】一部破損3、床下浸水5、床上浸水1【被害額】被害総額1,591,521千円
平成25年 (2013)	7月15日	大雨	県西部を中心に大雨等による被害が発生【人的被害】重傷2、軽傷1【建物被害】一部破損3、床上浸水6、床下浸水60、非住家5【被害額】被害総額1,551,398千円
平成28年 (2016)	10月21日	鳥取県中部地震	震源：鳥取県中部、規模：マグニチュード6.6、震度：県内最大震度6弱(倉吉市、湯梨浜町、北栄町)、鳥取県災害対策本部設置、鳥取県中部地震復興本部事務局設置、災害救助法適用(倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町)【人的被害】重傷8、軽傷17【建物被害】全壊18、半壊312、一部破損15,078、非住家316【被害額】被害総額6,066,157千円
平成29年 (2017)	1月22～24日	豪雪	最深積雪大山町241cm、智頭町111cm、国道373号線で多くの立ち往生車両が発生【人的被害】死者1、重傷5、軽傷12【被害額】被害総額58,251千円
平成29年 (2017)	2月9～24日	豪雪	最深積雪鳥取市吉方91cm、倉吉市大塚61cm、国道9号～山陰道で多くの立ち往生車両が発生【人的被害】死者2、重傷3、軽傷20【被害額】被害総額1,210,192千円
平成30年 (2018)	6月28～ 7月8日	平成30年7月豪雨	7月6日19時40分大雨特別警報を発表(鳥取市南部、若桜町、智頭町、八頭町)、7月7日6時30分大雨特別警報を発表(鳥取市北部、三朝町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町)災害救助法を適用(大雨特別警報が発表された1市9町)、鳥取県災害対策本部設置【住家被害】一部破損3棟、床上浸水7棟、床下浸水54棟
平成30年 (2018)	9月30～ 10月1日	台風24号	県内で広域に土砂災害、中小河川の越水や内水氾濫が多数発生。【人的被害】死者1、重傷2、軽傷1【住家被害】一部破損3、床上浸水16、床下浸水131
令和3年 (2021)	7月7～13日	大雨	県内全域で大雨となり、15市町に土砂災害警戒情報を発表。ため池の決壊や斜面の崩落等が多数発生。【人的被害】重傷1、軽傷3【住家被害】一部破損2、床上浸水22、床下浸水219

※ 当県に被害を及ぼした災害のうち、主なものを抜粋しています。